

発 行
福井県大野市天神町1番1号
大 野 市 役 所
電話(代) 6-1111
郵便番号 912
印刷 松浦印刷所



2月の人口の動き

出生	男 25	女 26	計 51
死亡	男 24	女 27	計 51
転入	男 27	女 29	計 56
転出	男 60	女 62	計 122
世帯数	10,038		
人 口	43,141		
男	20,671		
女	22,470		

ことしの施政方針 市の改造に取り組む

発展とうるおいある市民生活を

昭和46年度市政の大筋を決める第125回定例会市議会は、3月12日から22日まで開かれ、予算関係14議案、条例関係20議案、その他2議案を審議、いずれも原案どおり可決・承認しました。会期初日の12日には市長が施政方針演説をし、「大野市の改造を断行すべく、市民のご協力を得ながら市政と積極的に取組みたい」と、基本姿勢を明らかにしました。その概要をご紹介します。

45年度は、西谷村との合併をはじめ、葬斎場、し尿処理場の新・増設をはじめ、道路の改良・舗装、都市街路、下水路、公園の整備、農免道路、土地改良事業、林道の開設など3億8,961万円の建設事業を実施。また、真名川ダム工事の本格化これに伴う西部バイパス道路の着工、奥越高原牧場の完成、奥越青少年の森の着工など大事業が着々と実現しつつありますことは喜びに堪えません。

しかしその反面、米の生産調整、繊維産業の不振と、当市の二大基幹産業が不況にみまわれています。

今一つは地域の経済成長を阻害し、過疎化に結びつく自然条件を克服し、盆地性から脱皮しなければなりません。

当面、これらを最大の政治課題として大野市の秩序ある発展とうるおいある市民生活を築くため、心を新たに、各方面にわたる大野市の改造に積極的に取り組む覚悟です。

基本的な取り組み

1. 教育文化、福祉の充実を図り

健康な明るい文化都市に

- 1) 学校規模の適正化と施設の整備充実。統合中学校建設の早期実現、小学

校の計画的整備。

2) 社会教育の充実

新しいまちづくり運動、青年・婦人学級の充実、社会教育団体の育成を通じて新時代にふさわしい市民性を高める

3) 健康で明朗な市民づくり

学校の統廃合計画と合わせて総合体育施設を整備していく。

4) 福祉の充実

老人対策、児童対策、成人病対策を中心に、福祉向上を積極的に推進する。

2. 産業構造の革新を図り住みよい

豊かな産業都市に

1) 農業の振興

①農業振興計画の樹立、②土地基盤整備の実施による省力化、協業化を促進。

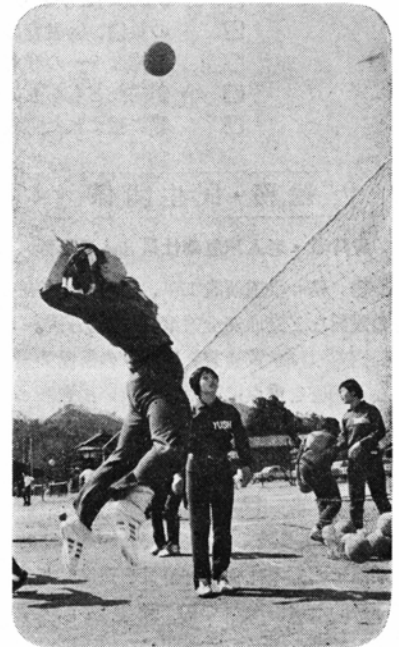
③畜産の振興と特産物生産団地の育成。また、企業を誘致して、農・工一体化を実現して農家経営の安定に努力する。

2) 林業の振興

治山治水の実をあげるため森林組合と協力し、林業構造改善事業、分収造林事業を強力に推進する。

3) 商工業対策

繊維産業については金融対策を重点に近代化のため繊維構造改善を進めたい。中小企業、商店の近代化を一層促進して魅力ある商店街づくりに努力する。



春

- ◇ ほほえむ風 ひかり ◇
- ◇ 飛び出そうグラウンドへ ◇
- ◇ はずむ胸 ◇
- ◇ はずむボール ◇
- ◇ せわしいシルエット ◇
- ◇ 空に吸いこまれる青春!! ◇

新しい工場を誘致して、農・商・工業の産業構造の一大改革に取り組んでいく。

3. 発展基盤の開発につとめ、

広域的な都市づくりに努力

市民生活の都市的变化、生活圏の広がりから考えて……

①環境衛生施設の整備、道路の改良舗装、都市計画事業と積極的に取り組む。

②交通安全対策、公害対策の推進

西部バイパス道路、北部バイパスの早期完成に力を入れ、市街地の交通量を緩和する。北部に続き〔2面に続く〕

一般会計 13億3,435万円
7 特別会計 3億8,447万円

本年度予算決まる

一部は今後の補正予算で措置

- 大野市の昭和46年度当初予算は、一般会計13億3,435万8,000円、国民健康保険事
- 業予算など7つの特別会計3億8,447万円、合計45年度より13.3%増の17億1,883万
- 6,000円と決まりました。当初予算は、①市民の税負担の軽減、②まちづくり基盤
- の整備、③教育の振興、④産業基盤の整備、⑤市民福祉の充実、⑥市民の安全対策
- の推進 — の6点を重点として編成してあります。しかし、財政再建団体としての
- 制約などもあり、一部の諸問題は今後の補正予算で措置していく方針です。当初予
- 算に組まれた主な事業は次のとおりです。

総務・民生関係

身障者・老人家庭奉仕員3人を新設

◎総務＝歩道新設工事、反射鏡、標識の設置など交通安全対策費に293万円。公害対策は水質検査と専門家の診断委託など調査を重点に27万円。賢い消費者づくりのために10万円。定時制高校の振興補助30万円。

〔1面より続く〕

東部・西部の区画整理事業を促進して、理想的な市街地づくりに努力する。

工場排水などの汚水問題を根本的に解決するため、下水道計画をたて計画的に整備する。

③広域的な交流を深めるため、越美北線の開通、県道大野・墨俣線の国道昇格、県道本郷・大野線の整備、黒谷・河内林道の開設などを隣接市町村と協力して積極的に進める。

④白山、荒島岳、九頭竜ダム群と奥越高原牧場、青少年の森など雄大な自然と人工施設を一体化した観光開発を、白山国立公園への編入と奥越県立公園の区域拡大を促進して、国、県、関係市町村とともに広域的な開発を図りたい。

4、水資源の確保も

①真名川ダム建設を機会に、全力をあげて水資源を確保したい。

②過疎対策は、道路交通の整備、林産物の振興、観光施設の整備と合わせて、地元の人たちと話し合いを通じて具体的な対策をとっていききたい。

以上のような基本に基づいて施策を講じ、公共施設の立遅れを取り戻し、行政水準を向上させたい。

◎民生＝新しく設けた心身障害者・単身老人のお世話をする家庭奉仕員3人の人件費76万円。重症心身障害者(児)の福祉手当60万円。老人健康診査、敬老会、老人クラブの活動補助など167万円。公・私立の保育所費(人件費を含む)6,710万円。義景保育所の増築費106万円。母子家庭高校生の就学援助費40万円。恵まれない人たちの扶助費2,660万円。



増築する義景保育所

衛生関係

し尿処理場の継続事業に4,380万円

成人病対策に32万円。母子保健対策に39万円。大野・勝山隔離病舎組合負担金90万円。各種の予防接種、結核の予防費に675万円を計上。葬斎場の整備費として、取付道路、側溝などの付帯工事および仏具などの備品購入費に345万円。清掃費では円滑なゴミ収集ができるように職員4名を増員。

昨年からの継続事業であるし尿処理場の建設費に4,380万円を計上、まちの美化と環境衛生施設を整えます。

農林業関係

富田農免道路に3,151万円

◎農業＝農業振興地域整備計画の調査費に約50万円。総合農政の推進費に141万

円。二期作いちごの生産助成費に20万円。家畜導入事業補助25万円。農業祭に30万円。このほか指定野菜近代化事業など県との関連事業を合わせて459万円の農業振興費を計上。

富田農免道路第2年次の事業費に3,151万円。ほ場整備事業補助1,157万円。市単独事業の農道・水路の改良事業に400万円を計上し、生産基盤を整備します。

◎林業＝林家の経営計画を立てるため20万円を森林組合に委託。林業労務者共済事業補助55万円をはじめ、おうれん生産補助など県との関連事業も合わせて林業振興費に238万円を計上。

林道費では、黒谷・河内林道1,000mの開設費1,844万円と既設林道の修理費用に30万円。

市有林の育成費として延べ340haの雪起こし、下刈りなどに681万円。

46年度から3カ年計画で進める林業構造改善事業には、橋爪・養道の入会林野整備費と事務費に110万円を計上。

商工関係

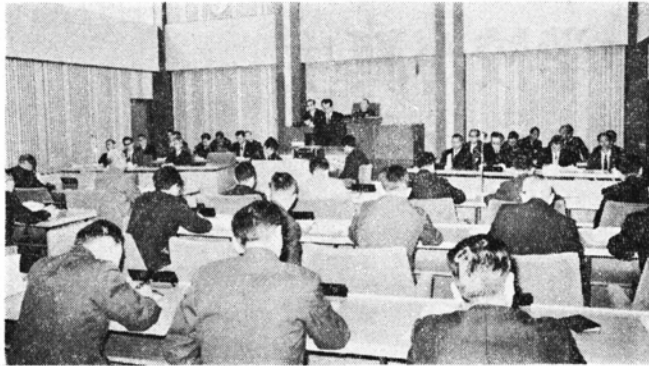
商工業の近代化に約1億円を融資

商工業の振興対策として、市が3,300万円を金融機関に預託し、その協調を得て、9,900万円の商工業近代化資金を融資し、その1年間の利子補給237万円も予算化。

このほか、工場誘致奨励金88万円。越美北線開通の促進費に21万円を計上。

観光面では、城まつりに100万円、仏御前の滝遊歩道工事に60万円。勝原駐車場設置負担金129万円。観光パンフレット、宣伝費などに41万円をみました。

三月議会
市長が予算案の概要を説明

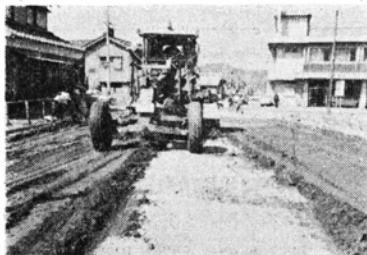


土 木 関 係

村部を重点に 約8,000坪を舗装

市道の路側・路面補修に140万円。改良工事には萩ヶ野・不動堂線など1,840坪分1,712万円。舗装は市街地2,460坪、村部5,580坪、計8,040坪分3,550万円を計上。橋の改良と補修に380万円。河川の改良は善導寺川などに340万円をみてあ

駅東線を续いて舗装



ります。

◎都市計画＝街路事業では駅東線256坪とその取付け市道275坪の舗装に780万円。亀山公園は、整備計画に基づいて広場の整備、遊歩道の新設などに900万円をかけます。

公共下水道の調査費に175万円を計上。将来の都市排水、下水道の基本計画をつくります。このほか、既設の下水路工事などに238万円、下吉住宅団地水道の設備改善工事に100万円を計上。

消 防 関 係

消防機械・施設を充実

消防車1台、小型動力ポンプ2台とその積載車1台、打込式防火水槽、防火水槽各1基の予算419万円を計上、消防力を充実します。そのほか、ことし大野市で

予定されている福井県総合防災訓練の費用をみています。

教 育 関 係

陽明中学校の設計費に361万円

小・中学校の土・日曜と祭日の宿日直代行費用272万円。石油ストーブ52台分104万円。44年度から3カ年計画ではじめて石油ストーブへの切替えは今年度で完了します。中学校の生徒用机1,400台、464万円を計上。中学校は全部スチール製の机に更新。47年度からは小学校も計画的に更新する予定です。

4月1日発足する陽明中学校の調査設計費として361万円を計上、事業費は補正予算で措置する予定です。

このほか上庄中学校プール水源工事などに300万円。校舎修理、校庭整地費に540万円。教材備品、教育消耗品を主に970万円を計上し、父兄負担の軽減に努めます。また、恵まれない家庭の児童生徒の就学援助費に273万円をあげ、学校教育の整備、充実を図ります。

◎社会教育＝各種の学級・講座の開設費や青年団・婦人会などの活動助成、文化活動の援助費として251万円。まちづくり運動推進費に60万円。小山・乾側公民館の調理室改造と公民館の修繕費に70万円。また、県から社会教育主事1人を派遣してもらうなど社会教育の充実に努めます。

◎体育関係＝市民、児童生徒の体位向上と各種協会の参加費、体育団体の育成費を中心に220万円を計上、体育の振興を図ります。

歳入は確実に算定

歳入は、今後の景気の見通し、昨年度の実績を考え、また、法令に基づいて確実に算定してあります。なお、46年度の赤字解消計画額は6,000万円です。

特 別 会 計 (単位千円)

国民健康保険事業	302,024
五箇診療所	2,019
簡易水道事業	5,235
食肉処理場事業	3,640
南部土地区画整理事業	6,300
北部土地区画整理事業	55,493
公団分収造休事業	9,767

2カ年短縮のメドたつ

財政再建計画を変更

財政再建計画のうち、45・46年度を変更することについて議会の承認を得ました。変更の理由は、両年度とも地方交付税、市税などの収入面の伸びと事業の推進変更によるものです。

45年度は、建設事業費を4,600万円ふやして3億8,900万円とし、その上赤字解消額を1,000万円増し、6,000万円にしました。

46年度では、人件費、物件費などの経常的な面も多少ふえましたが、中心は、建設事業費を約1億1,000万円ふやして、約4億7,000万円とし、赤字解消計画額も5,000万円から6,000万円に増額しました。

このように、歳入の伸びと消費的経費

を節約した結果、建設事業費を増額しながら、計画を上回る赤字解消が

でき、8カ年の再建計画を2カ年短縮して47年度で完了できるメドがつかしました。

開成中の敷地購入費を計上

45年度 一般会計 補正予算

昭和45年度一般会計予算は、9,119万円追加され、総額15億4,043万6,000円になりました。

おもなものは、ゴミ収集用ダンプトラック2台の購入費300万円。いちご冷蔵加工施設補助857万円。開成中学校の敷地2万4,404平方坪の購入費2,879万円。

他は、補助事業の事業費調整によるものが大部分を占めています。

陽明・開成両中学校が誕生

校舎建設は5～6カ年計画で

有終・小山・下庄・乾側の4中学校を廃止して、4月1日から、開成中学校、陽明中学校の2つの統合中学校が生まれます。

これは、学校規模の格差をなくして、教育内容を充実させる目的のもとに、通学区区域審議会を設置して検討するなど、昨年からの準備を進め、3月議会で、「学校設置条例の一部改正」が議決され、正式に決まったものです。

新中学校の位置は、陽明中学校が中荒井3の22、開成中学校が新庄16の7。

新校舎は、1校に3億余円をかけて、鉄筋コンクリート造り、3階建ての近代的なものを、5～6カ年計画で建設する予定です。建設順位は、生徒の教育上混乱をきたさないよう陽明中学校を先に、ことしから3カ年計画で建設にかかる予

定です。

校舎が完成するまで当分の間は、開成中学校有終教場・小山教場、陽明中学校下庄教場・乾側教場と呼び、通学区域もこれまでどおりとします。

校名は750点の中から

校名は、3月上旬市民から一般募集し、750点の中から選定しました。

3月13日、学識経験者、学校関係者16人からなる校名審議会を開いて7点に絞り、16日の教育委員会で「陽明」、「開成」の2つを選定。19日の教育委員会で、抽選により、北部を「陽明中学校」、南部を「開成中学校」と決定しました。

「陽明」の意味は、「太陽」の異称で



昨年12月の通学区区域審議会

あり、「漢書」の中に「萬物都陽明」の一章があります。「開成」は「易経」の中にある「開物成務」の略で、その意味は、「人のいまだ知らぬところを開発し、人のなそうとのぞむところを成就すること」です。

2つとも、学問の殿堂にふさわしいりっぱな校名です。名実ともにすぐれた学校になるよう、生徒・教員・市民みんなでその伝統を築いていきたいものです。

市民税 1,300万円を減税

標準税率の1.1倍に引き下げ

「大野市賦課徴収条例」の一部が改正され市民の税負担が軽減されます。

市民税の所得割は、昨年は標準税率の1.2倍で算定していましたが、これを1.1倍に引き下げるになりました。

この条例は46年度分の個人市民税から適用し、税率引き下げによる減税額は約1,300万円とみています。なお、47年度からは標準税率にする方針です。

◇…議員・特別職の報酬等を改正

特別職報酬等審議会の答申にそい、次

のとおり改められました。月額。(旧) 〓議長 5万2,000円(4万5,000円)、〓副議長 4万5,000円(4万円)、〓議員 4万1,000円(3万5,000円)、〓市長 15万8,000円、(13万5,000円)、〓助役12万4,000円(11万円)、〓収入役 11万円(10万円)、〓教育長 10万4,000円(9万円)。

条 例 関 係

このほか監査委員、選挙管理委員、教育委員等の非常勤の特別職員の報酬も平均20%増額。消防団員、防犯隊員の費用弁償(出勤手当)も1回につき300円を400円に改正されました。

◇…国保税の納期が変わる

国民健康保険条例の一部改正で保険税の納期が、「第1期5月1日から31日まで」を「7月1日から31日まで」に、「第2期8月1日から31日まで」を、「9月1日

から30日まで」に、それぞれ改正。

◇…公共用地売却所得には市税を減免

「大野市公共用地取得に伴う市税の特例に関する条例」が定められ、学校敷地道路、河川敷地など公共用地として土地を譲渡した人には、その所得に対する市税を減免することになりました。

◇…幼稚園の入園料・保育料を改正

「大野市幼稚園入園料保育料徴収条例」の一部改正で、入園料は1人につき1,200円を1,500円に、保育料は月額1人につき1,000円を1,200円に、それぞれ4月1日から改められます。

◇…葬斎場使用料は他市なみにアップ

「市営葬斎場の設置および管理条例」ができました。これは現在牛ヶ原で建設中の葬斎場の管理、使用などを定めたもので、完成後に施行されます。

使用手続きなどは、これまでと変わりませんが、使用料は他市並みに引き上げました。

〓満16才以上3,000円、〓満6～15歳2,000円、〓満6歳未満1,000円、〓死産児・胎盤など500円。(いずれも一体につき)

春の交通安全県民運動

事故減少日本一をめざそう

前期 4月5日～10日

こども、高齢者を交通事故から守ろう。

後期 4月26日～5月1日

油断なく、見る、待つ、ゆずる正しい運転。

知事・県議会議員選挙

投票日は4月11日

投票用紙…白が知事、赤は県議

4月11日は知事・県議会議員選挙の投票日です。投票時間は一部を除いて午前7時から午後6時まで。開票は午後8時から市役所大会議室で行なわれます。

2つの選挙を同時に行なうため、投票用紙は色分けしてあります。白色は知事、赤色は県議会議員の用紙です。

市選挙管理委員会は、このまちがいなくすため、まず知事を先に、いったん投票してから、県議会議員の用紙を交付し、投票してもらうように統一する方針です。

ことは12年に1回の選挙のあたり年。有権者の一票一票が大きく政治に反映する重大な年であるわけです。

特に70年代は、真に豊かな住みよい地域社会を建設していくべき内政の年代である、といわれ、その始めに行なわれるこの統一地方選挙の意義は、きわめて大きいことはいまでもありません。

先に行なわれた市議会議員選挙を謙虚に反省し、有権者一人一人が、候補者の

自分の判断で清き一票を

人物・識見をじゅうぶんに検討して、自分自身の判断で清き一票を投じましょう。

県議会議員
候補者 立会演説会日程

△4月6日、富田小学校。▷7日、

上庄小学校。▷8日、下庄小学校。▷9日、有終南小学校。

時間はいずれも午後7時から。

選挙人名簿登録者数

(3月15日現在)

- ◇…大野市 2万9,766人
男、1万3,841人。女、1万5,925人。
- ◇…和泉村 1,574人
男、796人。女、778人。
- ◇…福井県 51万3,808人
男、24万5,366人。女、27万3,272人。

庄林・阿難祖分校が廃校に

4月1日から本校に統合

下庄小学校庄林分校と小山小学校阿難祖分校の2分校は、児童数の減少、交通の発達により、3月31日で廃校、4月1日から両分校とも本校に統合されます。

庄林分校は明治5年10月、同区の真浄寺を仮校舎にして創立、阿難祖分校は明治13年有隣小学校として創立、学校制度の改革などで変遷はありましたが、両分校とも90年以上の校史に終止符を打ちました。

庄林分校では3月20日同校で、児童26人と父兄、市長・教育長・副議長らが出席して廃校式が行なわれ、母校への名を惜しみました。また、27年間、親子2代で用務員を務められた広瀬ふたをさ

んが表彰され、児童の最後の学習発表会もありました。



庄林分校の廃校式で最後の学習発表

前田さんらが入選

まちづくりの論文

大野市新しいまちづくり運動推進協議会が募集した「まちづくり論文」は、21点の応募があり、3月23日正津教育長ら8人が審査した結果、次の方が入選と決まりました。(敬称略)

【優秀賞】▷私の考えるまちづくり、前田正二(元町、55歳、貸本業)、▷よい大野市にするには、有終南小3年5組児童共同作(担任森本弘蔵教諭)、▷政治の谷間一山村一に、もう一度光を、中村定一(上打波、52歳、教員)。

【佳作】▷大野市の将来を考える、田中竹次郎(泉町、72歳、行政書士)、▷まちづくり運動はここから、安川綱江(下舌、35歳、主婦)。▷新しいまちづくりは人間づくりから、永田敏夫(横枕、57歳、教員)。▷なぜきれいな町ができないか、伊藤さとみ(日吉町、有終南小5年)



27

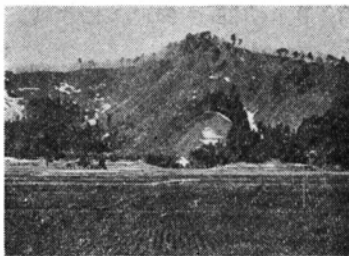
いねやまし
戌山城社

戌山城社は、亀山の西1,500 ㍎の犬山地籍にあります。

標高180 ㍎の山頂からは、大野平野が一望のうちにさめられ、攻守ともに完全な要害、堅固な山城でした。

築城の沿革は明らかではありませんが、おそらく室町時代の初期に斯波氏が築いたものと考えられ、斯波氏5代朝倉氏4代を経て、天正3年(1575)金森長近が戌山城主に任ぜられ、前後約250年間城主が居ました。

山頂には8カ所の台地と9カ所の堀切ごう(壕)、中腹にはめくら(三くら)



(山頂に1,575年ごろまで城があった)

清水と呼ばれる飲料水池が残っています。築城後は、台場の石垣なども完全にできていたようですが、長近が越前大野城を築くとき、石垣の石をすべて亀山に移したといわれます。

以後、城址として今日にいたり、昭和35年、市の史跡に指定されました。

ご利用ください…市の中小企業融資

市は「大野市中小企業資金融資制度」によって、次のように46年度分の融資をします。

1、予定される融資の方法

融資金の種類	予定金利	償還方法	融資限度額
商工業近代化（公害防止施設を含む）	年利8%程度	1年据置 2年償還	設備費の1/2以内で 200万円まで
商店設備近代化	〃	〃	100万円まで
繊維不況対策	〃	〃	200万円まで
共同事業	〃	融資年度内 一時償還	200万円まで
運 転 資 金	〃	〃	50万円まで

◎融資をした年だけ、金利の1/3以内の利子補給があります。

2、申込み受付 4月1日から

3、申込み先 商工会議所または織物組合

4、融資を受けられる人 市内に事業場

を持ち、1年以上営業する市税完納者となっていますが、その他詳しい条件は、市役所商工観光課または商工会議所へお問い合わせください。

飼うことになった人や、通知が届かない場合は、保険衛生課へお問い合わせを。

■…事業主は労災保険の手続きを

労災保険の年度更新手続きの時期です。事業主は4月30日までに報告と納付をしましょう。なお、本年度は保険料の改正に伴い、報告書様式が一部変更されましたので、手続きの上で不明の点は、労災保険料報告書をご持参の上、もよりの指定受付会場、または労働基準監督署でご相談ください。——福井労働基準局

スマイル

「緑化運動」

こちらも頼みます

——赤字家計簿

コーナー

『多い踏切事故』

次のことを守りましょう

踏切事故は、生命・財産を一瞬にして失うばかりでなく、列車の転覆・脱線などの大惨事を招くことになります。

次のことを守って踏切事故をなくしましょう。

- ① 列車の通過を待つときは、追突に備えて、手ブレーキをかけておく。
- ② 複線区間の踏切りでは、反対方向の列車にも気をつけ、安全を確かめて渡る。
- ③ 進入したら自分の車が踏切り内に残る恐れがあるときは、踏切りにはいらない。
- ④ 踏切り内で無理な行き違いをすると踏みはずす危険があるため、対向車が渡り終わるまで待つ。
- ⑤ エンスト防止のため変速をしない。
- ⑥ 踏切りで故障したら、車を動かす先に踏切非常ボタン、発煙筒、赤旗、赤ラ

ンプなどを使い、列車を止める手配を。

⑦ 発煙筒を車に備えつける。

——福井鉄道公安室長

お知らせ

■…身障者の方の巡回相談

県は、ことしの身体障害者（肢体不自由者）の巡回相談を次のように実施します。

と き 4月27日午後1～4時

ところ 大野市役所厚生室

相談内容は、補装具の修理とその交付判定など。目・耳に障害のある方は6月の予定で、今回は除かれます。

■…畜犬の登録と予防注射

ことしの畜犬登録と狂犬病予防注射を4月1日から13日までのうちに市内21カ所で行ないます。飼主は近くの会場で忘れずに受けさせてください。手数料は、600円です。通知を出しますが、最近、

■…市政世論調査の

ご協力に感謝します

このほど、小学校6年生774人の全世帯を対象に「市政世論調査」を実施しましたところ、86.3%の回答を得られ、そのご協力に対して厚くお礼申し上げます

集計を終え、結果をまとめましたが、紙面の都合上、次号でご紹介したいと思いますので、ご了承ください。

■…夜間照明を再開します

冬期間中断していました開成中学校有終教場グラウンドの夜間照明を4月5日から再開します。

時間は午後6時から9時まで。

使用ご希望の方は、その3日前までに教育委員会体育課へ所定の申込書を出して、許可を受けて下さい。

使用料は無料です。



戦後の学制改革六・三・三制も粒々辛苦のうち早くも二十有年の歳月を経てどうにか一人前に育った。教育はその時代とともに

進歩発展を遂げねばならない。むしろ教育は時代に先行すべきが使命であろう。▼そういう意味で今回当市の四つの中学校（小山・有終・下庄・乾側）の統廃合で二つの中学校が新発足することは、尚徳中学校誕生以来の画期的な大事業であり、大きな期待が寄せられる。▼適正規模の学校とは、あまり大きくも小さくもない学校、たとえば児童・生徒数では八百名までが限度で、通常五百名前後が一番運営しやすいことである。というのは全職員がひとりひとりの子どもを知らなければならない。子どもを知らなければならない子どもが先生を知ることでもある。双方の理解、信頼感の上に教育の作用は成立するものである。▼次に教育の施設設備にしても、その活用度が合理的であり能率的であることがあげられる。近代的な施設設備を整えるにも、ある程度の似かよった規模が必要である。通学上の問題にしても交通事情がよくなった今日その苦勞が少なくなった。最後に集団生活の問題であるが類似した学校間のよき意味のモラルの高揚が考えられる。▼四月一日から「開成」「陽明」の各中学校がスタートした。初めのうちは少々取りつきにくい点もあるが、教育の新殿堂を築く決意に燃えて、新校名のもと校下一丸となって邁進するとき生々発展の彼岸は約束せられるであろう。昭和二十九年七月一日、二町六カ村が大同団結して大野市をつくって十八年目、教育の基礎いよいよ固し。

(M生)